

WEB MESSAGE STOCK PERFORMANCE
BLOG WORK IDEA MARKETING
CHECK POINT SEMINAR
NETWORK

正しいCF・BS・PLの考え方

～3表の本質を理解し、経営判断に活かす戦略ガイド～
財務戦略ダウンロードレポート



初めに

このようなお悩みはありませんか？

- 利益は出ているのにお金が残らない
- 決算書を見てもよくわからない
- 銀行との付き合い方に不安がある
- 借入の判断基準がわからない
- 自社の財務が健全なのか判断できない

本レポートでは、このようなお悩みを解決する

財務戦略を大公開しています！

本レポートでわかること

- PL（損益計算書）の正しい見方と経営への活かし方
- BS（貸借対照表）から財務体質を読み解くポイント
- CF（キャッシュフロー計算書）が示す本当の資金状況
- 「利益は出ているのにお金が残らない」原因と対策
- 黒字倒産が起こるメカニズム
- 銀行が決算書のどこを見て融資判断しているのか
- 自己資本比率・流動比率など重要指標の見方
- 資金繰り改善に役立つ財務分析の考え方
- PL・BS・CFを連動させて経営判断を行う方法
- 財務三表を「税務資料」ではなく「経営の羅針盤」として活用する方法

ぜひ本レポートをダウンロードして、
財務戦略に役立ててください。

財務三表(PL・BS・CF計算書)は、企業の健康診断書です。しかし多くの経営者が「決算は税理士に任せている」「数字は見るが意味がよくわからない」という状態で経営をしています。これは、羅針盤なしで航海するようなものです。

本ホワイトペーパーでは、PL(損益計算書)・BS(貸借対照表)・CF(キャッシュフロー計算書)の「正しい読み方・考え方・使い方」を体系的に解説します。単なる会計知識ではなく、経営判断・銀行対応・事業改善に直結する実践的な視点でまとめています。

PL(損益計算書)	BS(貸借対照表)	CF(キャッシュフロー計算書)
一定期間の「儲け」を示す	ある時点の「財産と借金」を示す	実際の「現金の動き」を示す
「黒字でも倒産」の理由がここにある	企業の「体力・財務基盤」の強さを示す	経営の「血流」を管理し倒産を防ぐ

PLの構造——5段階の利益を理解する

売上高

－ 売上原価（製造コスト・仕入コスト）

= ① 売上総利益（粗利） ←「稼ぐ力」の原点。ここが薄いと全てが苦しくなる

－ 販売費・一般管理費（人件費・家賃・広告費など）

= ② 営業利益 ←「本業で稼ぐ力」。銀行が最重視する利益

± 営業外収益・費用（受取利息・支払利息・為替差損益など）

= ③ 経常利益 ←「通常の事業活動の総合的な稼ぐ力」

± 特別利益・特別損失（固定資産売却益・災害損失など）

= ④ 税引前当期純利益

－ 法人税・住民税・事業税

= ⑤ 当期純利益 ←最終的な利益。BSの純資産に積み上がる

BSの構造——左右のバランスを理解する

【左側】資産の部「お金をどう使っているか」	【右側】負債・純資産の部「お金をどこから調達したか」
<p>流動資産（1年以内に現金化できるもの） 現金・預金、売掛金、棚卸資産</p> <p>固定資産（長期に保有する資産） 有形固定資産（土地・建物・機械） 無形固定資産（のれん・特許） 投資その他の資産（出資金・長期預金）</p>	<p>流動負債（1年以内に返済すべき負債） 買掛金、短期借入金、未払費用</p> <p>固定負債（長期の負債） 長期借入金、社債、退職給付引当金</p> <p>純資産（自己資本） 資本金、資本剰余金、利益剰余金 ←毎期の利益がここに積み上がる</p>
資産合計	負債合計 + 純資産合計（必ず一致）

第3章 CF(キャッシュフロー計算書)の正しい考え方

キャッシュフロー計算書(CF計算書)は「一定期間における現金の増減とその理由」を示す財務諸表です。PLで利益が出ていても、現金が手元ないと企業は倒産します。この「黒字倒産」を防ぐ最重要ツールがCF計算書です。

最重要の前提認識:「利益 ≠ 現金」

PLの利益には、まだ入金されていない売掛金・減価償却費(現金支出なし)・前払費用などが含まれます。一方、設備投資・借入返済・在庫増加はPLに費用として反映されないまま現金が出ていきます。CFはこの「ズレ」を正確に把握するためのツールです。

3-1 CF計算書の3区分を理解する

区分	内容・意味	健全な状態
① 営業活動CF (Operating CF)	本業の事業活動で生み出した現金の増減。利益から運転資本の変動・税金支払いを調整したもの	プラス(継続的に)。マイナスが続く場合は本業の稼ぐ力に問題あり
② 投資活動CF (Investing CF)	設備投資・子会社取得(マイナス)や固定資産売却(プラス)など、投資活動に伴う現金の増減	成長投資中はマイナスが正常。ただし営業CFを超える投資は要注意
③ 財務活動CF (Financing CF)	借入・返済・増資・配当など、資金調達・返済に伴う現金の増減	返済が順調ならマイナス。過剰な借入増加はリスク

4-2 3表クロス分析——数字の「矛盾」を発見する

3表を横断的に見ると、単表では見えない「数字の矛盾」が発見できます。以下のパターンは特に注意が必要です。

発見できる問題	PL上の数字	BSまたはCF上の数字	考えられる原因
架空売上の疑い	売上・利益が増加	売掛金が異常に膨らむ・営業CFがマイナス	入金されない売上が計上されている可能性
在庫の水増し	原価率が改善・利益増加	棚卸資産が異常増加・CF悪化	在庫評価の操作による利益かさ上げの疑い
利益はあるのに現金がない	当期純利益がプラス	営業CFがマイナス・現金預金が減少	売上急増期の運転資金不足・設備投資超過
借入は増えているが設備がない	特段の変化なし	借入金増加・固定資産に変化なし	資金使途の確認が必要。流用リスクに注意

4-3 銀行が3表から何を读んでいるか

銀行の融資担当者は、3表を以下の観点で横断的に確認しています。自社の決算書を「銀行目線」で点検してみましょう。

- PL: 営業利益
- BS: 自己資本
- CF: 営業CF

つづきはダウンロードフォームへ！